

学会発表報告書

理学研究科 高分子科学専攻 高分子反応化学研究室 M2 花崎友昭

学会名

日本化学会第88春期年会（立教大学池袋キャンパス 3月26日～30日）

私は3月26日から29日までの間、立教大学で行われた日本化学会第88春期年会に口頭発表で参加させていただきました。私にとって学会での口頭発表は初めての経験であったのでかなり不安を抱えての発表ではありましたが、非常に貴重な体験をさせていただきました。私の発表に関しては糖鎖解析に関して全く新しいアプローチであり、同じ研究をされている方々にとっては非常に驚かれたであろうと感じております。

また、ポスターセッションも見学させていただきました。そこでは前に在籍していた研究室の後輩が発表を行っており、その全員の説明を聞かせていただきました。かつて行っていた研究テーマに関して、後輩の方々の研究内容を話し合うことで、懐かしさを感じました。後輩と研究室の様子などについて話したりもしました。自分の研究テーマから新しく発展した分野のお話が伺えたことや、前の大学の先生方とも再会することができ、貴重な体験であったと感じております。

さらに就職活動の一環として企業との相談のコーナーが設けられており、そこでも貴重なお話を伺うことができました。私は化学系や電気系のメーカーへの就職を考えておりますが、主に材料開発に関するメーカーのお話を伺いました。そこでは高分子材料の開発にこれから力を入れていくそうで、自分自身の可能性を広げることのできる企業であると考えました。是非とも受験する企業の一つとして検討させていただきたいと考えております。

今回の学会への参加で、普段見ることのできない他の研究の様子について知ることができました。学会のカテゴリーが化学全体に及んでいることもあって、様々な研究内容に関して知識を得ることができました。また前の大学の研究内容の発展を知ることができました。

最後になりましたが、このような機会を与えてくださった方々、インタラクティブプログラム、そして研究発表を支援してくださった方々に感謝いたします。